資料５

第48回 東京圏国家戦略特別区域会議
東京都提出資料

令和７年５月29日

国際競争力強化の実現に資する都市再生の推進

認定案件

都市計画法の特例を活用し、有楽町エリアの発展を支える都市基盤の強化や、新たな出逢い・交流・発信の拠点実現に寄与する文化芸術拠点の形成等により、国際競争力強化に資する都市再生プロジェクトを推進

【丸の内仲通り南周辺地区】

事業主体：三菱地所（株）、東宝（株）、公益財団法人出光美術館、
ちよだ基盤開発合同会社

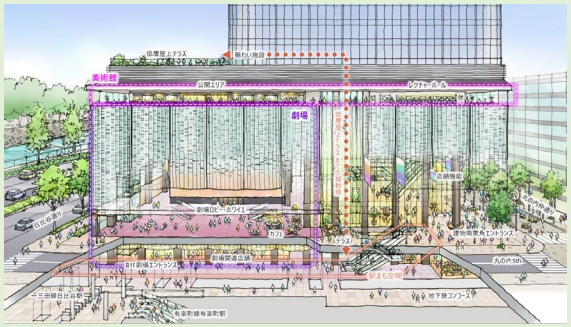
＜地区全体での取組＞

- 複数街区共同で**東西地下通路**と、**JR有楽町駅と接続**させる都市基盤の整備による混雑緩和

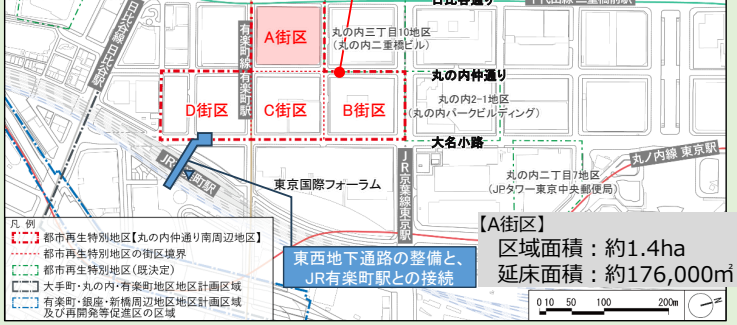
＜ A街区での取組＞

- **まちの象徴となる駅まち空間**の創出や、**面的な回遊を生み出す歩行者ネットワーク**の強化
- **街の社交場的機能**を担い、出逢い・交流の活性化に貢献する**劇場**や、**アフターMICE活用**を見据えた**美術館**を整備

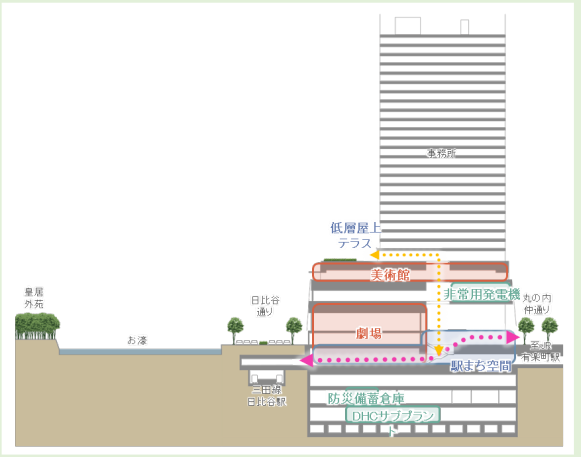
＜建物外観イメージ＞



＜文化芸術拠点としての施設更新イメージ＞



＜位置図＞



＜断面イメージ＞

国際競争力強化の実現に資する都市再生の推進

認定案件

【品川駅西口地区】　※変更

京浜急行電鉄㈱、㈱西武不動産、
高輪三丁目品川駅前地区市街地再開発組合、UR都市機構

- 品川駅とまちの連携を強化するバリアフリーの歩行者ネットワークの整備
- 豊かな自然とＭＩＣＥ等の都市機能が高度に融合した複合交流拠点等を整備

※　**高輪三丁目品川駅前地区市街地再開発準備組合を事業者から削除**

高輪三丁目品川駅前地区市街地再開発組合を事業者へ追加

<計画地のイメージ>　※ Google Maps から引用し、東京都作成

病床規制に係る医療法の特例適用の廃止：公益財団法人　がん研究会

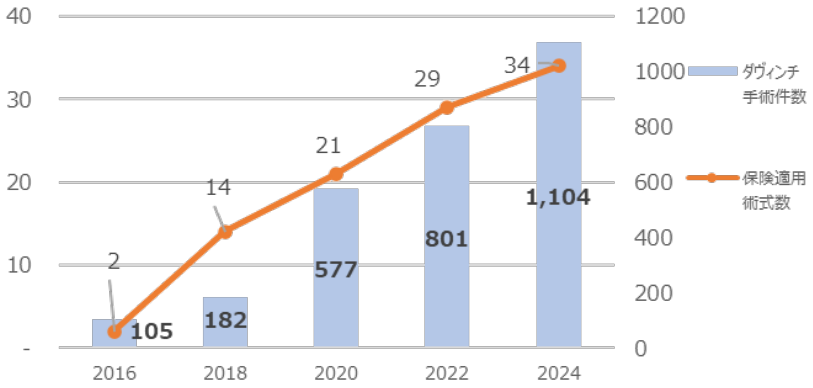
事業内容（平成26年12月認定）

がん研有明病院において、世界最先端のがん医療技術である**ダヴィンチ手術**について、前立腺がんに加え、**多様な臓器がん（大腸、食道がん等）へ応用**し、治療を行う等のため新たに病床10床を整備する。
（平成28(2016)年中の増床を予定）

認定後の状況

- がん研有明病院では、**ダヴィンチ手術の保険収載拡大**に伴い、**手術件数が増加**する一方、本特例の対象となる**世界最先端の医療技術**（保険未収載術式など）**が減少**

- 既存病床の稼働状況を見ながら増床時期を検討してきたが、抗がん剤治療の外来へのシフトや医療技術の進歩等による**在院日数の低下**もあり、**現在の病床数で手術対応が見込める状況**となった



	2014	2016	2018	2020	2022	2023
平均在院日数（手術目的）	15.0	14.1	13.6	13.4	12.9	12.8
病床稼働率（%）	88	87	93	81	83	82

当該病院においては、**専門とするがん治療の領域**で、**特例適用による病床増の必要がなくなった**ことから、（公財）がん研究会に対する**特例適用を廃止**

単式蒸留焼酎等の製造免許要件の更なる緩和

東京都・檜原村
新　規　提　案

対象の規制改革メニュー（“焼酎特区”）

※　檜原村はじゃがいも焼酎でメニューを活用中

＜酒税法＞【原則】
単式蒸留焼酎の製造免許：
年間で最低10キロリットル以上の製造基準

＜特区＞【特例】
最低製造数量の基準を緩和し、小規模製造を可能に
（主原料は農産物、水産物又は加工品）

現状

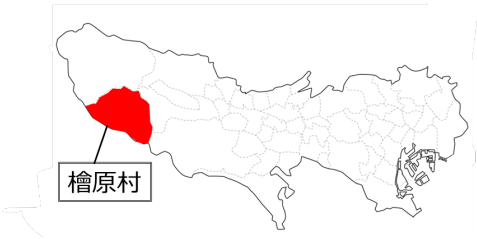
- 2022年、森林総合研究所が**世界初の「木の酒」**の製造技術を確立
- 2023年、村の重要資源である**ヒノキ（多摩産材）活用**の一環として、じゃがいも焼酎に「ヒノキ由来の焼酎」をブレンドした焼酎の製造・販売を開始
- 今後、**ヒノキを主原料とした焼酎の**製造・販売を行いたいが、大規模な**製造・販売は困難**

ブレンド焼酎
「ひのはら物語　HINOKI」

公式キャラクター　ひのじゃがくん

課題

小規模製造の要件緩和の対象主原料に、
木材が含まれていない



焼酎等製造施設　「ひのはらファクトリー」

提案内容

本規制改革メニューの要件緩和の対象主原料に
木材を追加

100%木材由来の焼酎の小規模製造を
可能とする

効果

林産物由来の酒類製造機会の増加 ▶ **新たな地域ブランド創出・雇用拡大**

世界初「木の酒」の更なる普及 ▶ **国際競争力強化・国産木材活用促進**